

※各計算書及び一覧表において、単位未満を四捨五入しているため、合計などに差異が生じる場合があります。

(1)2021 年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出についてその顛末を明らかにし、資金の使途や残高状況を表したものです。

収入の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	35,141	35,278	△ 137	
手数料収入	2,433	2,300	132	
寄付金収入	293	282	11	
補助金収入	5,895	5,538	357	
資産売却収入	50	50	0	
付随事業・収益事業収入	680	723	△ 44	
受取利息・配当金収入	622	724	△ 102	
雑収入	818	1,244	△ 425	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	8,018	8,130	△ 112	
その他の収入	7,442	8,020	△ 578	
資金収入調整勘定	△ 7,894	△ 9,171	1,276	
前年度繰越支払資金	32,093	32,093	0	
収入の部合計	85,591	85,212	380	

支出の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	21,944	21,797	147	
教育研究経費支出	13,732	11,884	1,848	
管理経費支出	1,846	1,650	196	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	12,950	11,949	1,001	
設備関係支出	1,123	1,354	△ 231	
資産運用支出	4,309	4,646	△ 337	
その他の支出	2,232	3,144	△ 912	
[予備費]	(0)		600	
	600			
資金支出調整勘定	△ 310	△ 1,512	1,203	
翌年度繰越支払資金	27,164	30,300	△ 3,136	
支出の部合計	85,591	85,212	380	

※差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

収入の部の合計 852 億 1,200 万円から前年度繰越支払資金 320 億 9,300 万円を除いた当年度の資金収入は 531 億 1,900 万円となりました。

学生生徒等から納付いただいた入学金や授業料等の学生生徒等納付金収入は 352 億 7,800 万円となり予算比で 1 億 3,700 万円の増加、入学検定料収入を中心とする手数料収入は、23 億円となり予算比で 1 億 3,200 万円の減少、私立大学等經常費補助金や国際化拠点事業費補助金(SGU)、附属校等の私立学校經常費補助金等の補助金収入が 55 億 3,800 万円となり予算比で 3 億 5,700 万円の減少となっています。

その他、付随事業・収益事業収入が 4,400 万円、受取利息・配当金収入が 1 億 200 万円、雑収入が 4 億 2,500 万円、予算での見込みより増加しましたが、寄付金収入が 1,100 万円、予算での見込みより減少しました。

【支出の状況】

支出の部の合計 852 億 1,200 万円から翌年度繰越支払資金を除いた当年度の資金支出は 549 億 1,200 万円となりました。

人件費支出が 217 億 9,700 万円となり、教員の未補充等により予算比で 1 億 4,700 万円の減少、教育研究経費支出は、118 億 8,400 万円となり予算比で 18 億 4,800 万円の減少、管理経費支出が 16 億 5,000 万円となり予算比で 1 億 9,600 万円の減少、施設関係支出が 119 億 4,900 万円となり予算比で 10 億 100 万円の減少、設備関係支出が 13 億 5,400 万円となり予算比で 2 億 3,100 万円の増加となりました。その他、資産運用支出が 46 億 4,600 万円で退職給与引当特定資産繰入支出の増加により予算を上回りました。

この結果、翌年度繰越支払資金は 303 億円となりました。

(1)2021 年度決算の概要

②活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に近いもので、資金収支計算書を「教育活動」、「施設設備等活動」、「その他の活動」の3つの区分に分けて、活動区分ごとの収支構造を明らかにしたものです。

教育活動による資金収支		(単位:百万円)	その他の活動による資金収支		(単位:百万円)
収入	科目	金額	収入	科目	金額
収入	学生生徒等納付金収入	35,278	収入	退職給与引当特定資産取崩収入	358
	手数料収入	2,300		奨学事業引当特定資産取崩収入	21
	特別寄付金収入	249		貸付金回収収入	3
	一般寄付金収入	21		預り金受入収入	367
	経常費等補助金収入	5,505		修学旅行費預り資産取崩収入	254
	付随事業収入	723		立替金回収収入	92
	雑収入	1,082		修学旅行費預り金収入	42
	教育活動資金収入計	45,158		その他の収入	218
支出	人件費支出	21,797		小計	1,357
	教育研究経費支出	11,884		受取利息・配当金収入	724
	管理経費支出	1,650		過年度修正収入	2
	教育活動資金支出計	35,331		為替差益	160
差引		9,827		その他の活動資金収入計	2,243
調整勘定等		189	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	506
教育活動資金収支差額		10,016		貸付金支払支出	2
				預り金支払支出	411
				出資金支出	0
				差入保証金支出	0
				修学旅行費預り資産繰入支出	274
				立替金支払支出	29
				修学旅行費預り金支出	22
				その他の支出	253
				小計	1,497
				過年度修正支出	0
				為替差損	0
				その他の活動資金支出計	1,497
			差引		746
			調整勘定等		7
			その他の活動資金収支差額		753
			支払資金の増減額		
			(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 1,793
			前年度繰越支払資金		32,093
			翌年度繰越支払資金		30,300

施設整備等活動による資金収支		(単位:百万円)
収入	科目	金額
収入	施設設備寄付金収入	13
	施設設備補助金収入	33
	施設設備売却収入	50
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	5,000
	施設整備等活動資金収入計	5,095
支出	施設関係支出	11,949
	設備関係支出	1,354
	減価償却引当特定資産繰入支出	2,140
	建設準備引当特定資産繰入支出	2,000
	施設整備等活動資金支出計	17,443
差引		△ 12,348
調整勘定等		△ 214
施設整備等活動資金収支差額		△ 12,562

小計(教育活動資金収支差額 +施設整備等活動資金収支差額)		△ 2,546
----------------------------------	--	---------

本業である教育活動による資金収支は、100億1,600万円のプラス(収入超過)となりました。

施設整備等活動による資金収支は、125億6,200万円のマイナス(支出超過)となりました。施設関係支出の主なものは、赤羽台キャンパスの新校舎や国際交流宿舎建築工事、朝霞キャンパスの新校舎建築工事、川越キャンパスの運動部合宿所増築工事のほか、大学の校舎換気設備設置工事や電気設備更新工事等の支出です。設備関係支出の主なものは、赤羽台キャンパス国際交流宿舎及び川越キャンパス運動部合宿所の機器備品や教育・研究のための機器備品、情報関係機器等購入の支出です。赤羽台キャンパス新校舎建築工事に伴い、第2号基本金引当特定資産から50億円の取り崩しを行い、老朽化建物の大規模修繕や建物の将来の建て替えの備えとして、減価償却引当特定資産に21億4,000万円、建設準備引当特定資産に20億円を繰り入れました。

教育活動と施設整備等活動を合わせた資金収支差額は、25億4,600万円のマイナスとなりました。

その他の活動による資金収支は、7億5,300万円のプラスとなり、この結果、翌年度への繰越支払資金は、17億9,300万円減少し、303億円となりました。

(1)2021 年度決算の概要

③事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入及び事業活動支出を、本業である教育研究活動の収支を示す「教育活動収支」と、教育研究活動以外の活動(主に財務活動)の収支を示す「教育外活動収支」、資産売却や資産処分等の臨時的な収支を示す「特別収支」に区分し、その内容を示すとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、経営状態の健全性を表したものです。

教育活動収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
学生生徒等納付金	35,141	35,278	△ 137	
手数料	2,433	2,300	132	
寄付金	293	289	4	
経常費等補助金	5,862	5,505	357	
付随事業収入	680	723	△ 44	
雑収入	818	1,086	△ 268	
教育活動収入計	45,227	45,182	45	
事業活動支出の部				
人件費	22,098	21,847	251	
教育研究経費	19,049	17,258	1,791	
管理経費	1,890	1,695	196	
教育活動支出計	43,038	40,800	2,238	
教育活動収支差額	2,189	4,382	△ 2,193	

教育活動外収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
受取利息・配当金	622	724	△ 102	
その他の教育活動外収入	0	160	△ 160	
教育活動外収入計	622	884	△ 262	
事業活動支出の部				
借入金等利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出	0	0	△ 0	
教育活動外支出計	0	0	△ 0	
教育活動外収支差額	622	884	△ 262	
経常収支差額	2,812	5,266	△ 2,455	

特別収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
資産売却差額	29	29	0	
その他の特別収入	33	111	△ 78	
特別収入計	61	140	△ 78	
事業活動支出の部				
資産処分差額	1,245	1,263	△ 18	
その他の特別支出	0	0	△ 0	
特別支出計	1,245	1,263	△ 18	
特別収支差額	△ 1,184	△ 1,123	△ 60	

[予備費]	(0)		600	
基本金組入前当年度収支差額	1,028	4,143	△ 3,115	
基本金組入額合計	△ 9,519	△ 7,334	△ 2,185	
当年度収支差額	△ 8,491	△ 3,191	△ 5,299	
前年度繰越収支差額	△ 35,682	△ 35,682	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 44,173	△ 38,873	△ 5,299	

(参考)			
事業活動収入計	45,911	46,206	△ 295
事業活動支出計	44,883	42,063	2,820

※差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は462億6000万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が前年度より4億4,100万円減少し352億7,800万円に、入学検定料などの手数料が大学の志願者数が増加したことにより前年度より4,300万円増加し23億円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金が前年度より9,900万円減少し2億8,900万円に、経常費等補助金が前年度より3億6,700万円増加し55億500万円になりました。

教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より3億8,800万円増加し7億2,400万円に、その他の教育活動外収入では為替差益が1億6,000万円発生しました。

特別収支では施設設備に係る寄付金や現物寄付、施設設備補助金などのその他の特別収入が前年度より1億200万円減少し1億1,100万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は420億6,300万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が前年度より2億4,800万円増加し218億4,700万円に、教育研究経費が前年度より5億9,700万円増加し172億5,800万円に、管理経費が前年度より1億6,600万円増加し16億9,500万円となりました。なお、全体のうち53億9,900万円は減価償却額になります。

特別収支では、朝霞キャンパス新校舎建築工事開始に伴う既存校舎の一部解体等により資産処分差額が12億6,300万円発生しました。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より2億4,300万円減少し52億6,600万円で、さらに特別収支差額の11億2,300万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より13億7,800万円減少し41億4,300万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はマイナスの31億9,100万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス388億7,300万円(支出超過)となりました。

(1)2021 年度決算の概要

④貸借対照表の状況

貸借対照表は、一定時点(決算日、3月末現在)における資産、負債、純資産の財政状態を表したものです。

資産の部 (単位:百万円)				負債の部 (単位:百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	222,766	216,818	5,947	固定負債	8,984	8,938	46
有形固定資産	170,582	163,920	6,663	退職給与引当金	8,967	8,920	46
土地	59,373	59,394	△ 21	長期未払金	18	18	0
建物	78,878	79,384	△ 506	流動負債	10,363	10,777	△ 414
構築物	5,191	5,305	△ 114	未払金	1,203	1,829	△ 626
教育研究用機器備品	5,422	5,677	△ 255	前受金	8,130	7,894	235
管理用機器備品	77	73	4	預り金	756	799	△ 43
図書	8,300	8,374	△ 74	修学旅行費預り金	274	254	20
車輛	2	4	△ 2	負債の部合計	19,347	19,715	△ 368
建設仮勘定	13,339	5,709	7,630				
特定資産	51,502	52,236	△ 734	純資産の部 (単位:百万円)			
第2号基本金引当特定資産	5,000	10,000	△ 5,000	科 目	本年度末	前年度末	増 減
第3号基本金引当特定資産	11,467	11,467	0	基本金	274,769	267,435	7,334
減価償却引当特定資産	21,839	19,699	2,140	第1号基本金	255,808	243,474	12,334
退職給与引当特定資産	3,455	3,308	147	第2号基本金	5,000	10,000	△ 5,000
建設準備引当特定資産	9,090	7,090	2,000	第3号基本金	11,467	11,467	0
井上円了哲学塾引当特定資産	160	160	0	第4号基本金	2,494	2,494	0
奨学事業引当特定資産	449	470	△ 21	繰越収支差額	△ 38,873	△ 35,682	△ 3,191
幼稚園園舎改築引当特定資産	42	42	0	翌年度繰越収支差額	△ 38,873	△ 35,682	△ 3,191
その他の固定資産	681	663	19	純資産の部合計	235,896	231,753	4,143
借地権	55	55	0				
施設利用権	1	2	△ 1	科 目	本年度末	前年度末	増 減
商標権	1	3	△ 1	負債及び純資産の部合計	255,243	251,467	3,775
ソフトウェア	519	496	23				
出資金	32	32	0				
未収入金	15	15	0				
有価証券	20	20	0				
前払金	2	4	△ 2				
差入保証金	29	29	0				
長期貸付金	6	8	△ 2				
預託金	0	0	0				
流動資産	32,477	34,649	△ 2,172				
現金預金	30,300	32,093	△ 1,793				
未収入金	1,286	1,673	△ 387				
前払金	326	310	17				
修学旅行費預り資産	274	254	20				
立替金	38	102	△ 64				
その他の流動資産	253	218	35				
資産の部合計	255,243	251,467	3,775				

加などにより、前年度末に比べ合計で66億6,300万円増加し、1,705億8,200万円となりました。特定資産は、第2号基本金引当特定資産を赤羽台キャンパス新校舎建築工事費用の一部として50億円を取り崩したことのほか、減価償却引当特定資産は、大学で20億円、附属牛久中学高等学校で1億4,000万円を組み入れたことにより21億4,000万円の増加、また老朽化建物の大規模修繕や建て替えの備えとして、大学で建設準備引当特定資産へ20億円を組み入れたことなどにより、前年度末に比べ合計で7億3,400万円減少の515億200万円となりました。その他の固定資産は、前年度末に比べ1,900万円増加し6億8,100万円に、流動資産は現金預金が17億9,300万円、未収入金が3億8,700万円、立替金が6,400万円減少したことなどにより、前年度末に比べ合計で21億7,200万円減少し324億7,700万円となりました。

【負債の状況】

負債総額は193億4,700万円で前年度末に比べ3億6,800万円減少しました。固定負債は退職給与引当金が4,600万円増加したことにより89億8,400万円に、流動負債は未払金が6億2,600万円減少し、前受金が2億3,500万円増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で4億1,400万円減少し103億6,300万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は前年度末に比べ73億3,400万円増加して2,747億6,900万円となりました。このうち第1号基本金は赤羽台キャンパス国際交流宿舎建築工事や川越キャンパス運動部合宿所増築工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得などにより、前年度末に比べ123億3,400万円増加し2,558億800万円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額2,552億4,300万円に対して、負債総額が193億4,700万円になったため、純資産は前年度末に比べ41億4,300万円増加し2,358億9,600万円となり、基本金が2,747億6,900万円であることから、繰越収支差額はマイナス388億7,300万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は856億8,700万円、基本金の未組入額は4億7,600万円となりました。